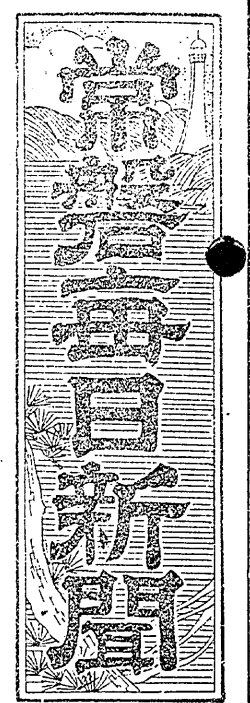


刊夕 日一卅月十



定価 一部全巻五拾月金五拾銭 郵費五拾銭
 廣告料五拾月金五拾銭 一行五拾銭
 日曜日の翌日休刊
 発行所 常磐新報社 印刷所 常磐印刷株式会社

三藏法師

眞繼 雲山

佛書を讀んでゆくと、人の名前に三藏といふ文字が出来る、玄奘三藏、不空三藏、菩提留支三藏といふの類で、この場合、三藏とは一見して何々太郎の位類に見ゆるが、三藏とは名前ではなく、法師といふことである、それも平凡な法師ではなく、三藏に通達せる法師といふ意味の尊稱である。

三藏とは經、律、論の三つの藏である。藏とは倉庫のこと、そこに智慧が藏ひ込まれてあつて、縁によつて無盡藏に出て来る。これを經藏、律藏、論藏といふ。

經とは梵語『修多羅』で佛の説法を結集したものの律とは梵語『毘尼』で、佛の定められた禁戒儀則のこと、論は戒律である。論とは梵語『毘曇』で經説の直義を開顯論述したものである。

學問的な出来上りの順序からいへば經律論となる。釋尊が説法してゆかれたつゝある間に、その教に違ふ行ひをなすものがある。行ひを正しからしむるための教へであるのに、口の下から教へを破られては何んにもならぬ、そこで弟子が教を

犯す毎に禁戒を制定せられた。それ積りつものつて後には二百五十戒、五百戒といふほど澤山になつた。國家の法律が次から次へと増加してゆくやうなものである

論とは後の學者、佛弟子が經律の眞意を開顯し論釋したものであるから、順床よりいへば經律論となるのである。古歌に

【朝】小豆粥 小付 葉と
 うがらし佃煮
 【晝】粕漬たら 小井 煮
 豆
 【晚】さつま芋御飯(さつ
 ま炊込) 椀 いわし
 つみ入れ さき葱

この三つが佛敎の大動脈である。しかし實修上からいへば律經論とならざるを得ない。寢ころんで聞いてゐるやうな無誠意、不行儀なものに尊い説法をなすことは出来なからである。また如何ほど經論に通達しやうとも實踐が伴はねば何んにもならぬ佛敎の生命は實行にある。これを律といふのである。戒律とは止惡作善といふて行を規定したものであるから律が何よりも最第一となる

ところが佛敎中の經論は面白いが、戒律は、どうも窮屈なので大抵の人は、こ

れを煙たがつて敬遠する。左れど本來、戒律とは窮屈であるべき筈のものではないので、天地自然の正しい道がそのまゝ戒である。春に花咲き、秋に稔るのが天地の大道でこれを人間生活に移して朝起きて顔を洗ひ晝はたらきて夜ねむるの戒である。秋に花咲き。夜中に這ひ出すのは破戒である。古歌に

主に忠、親には
 孝をなすものを
 知らずすること
 誠なりけり

とある通り、忠義をせねばならん、孝行を忘れてゐたさあ孝行をなさんかなどと我れから鞭うちて努力するやうなもののは眞の忠孝ではない。忠孝に努力したり、戒律を窮屈に感じたりするのは未だ誠の到らず、修證の定らざるもので『終日戒に於て戒を知らざる』が眞の戒である。

自然の行持がそのまゝ戒律に叶ふに至りて、人間は完成されたのである。

吉田眼科醫院

平町紺屋町

耳鼻咽喉科専門
 鈴木醫院

醫學士 鈴木 正男
 平町田町 (電話五八番)
 藤田女學校前
 自炊のお需めに應ず
 入院の便あり

諸機械製作販賣

合名 田邊製作所

平白銀町(驛前通)
 電話二九四番

機械切各種齒車製作

かまぼこ 製造

杉蔭法園

お惣菜用 さつま揚 吉原揚
 平町一丁目
 電話一四一番

難波 陸

醫學博士 難波 陸
 看護婦募集
 平町大町新川端
 電話五〇二

内科一般

磐城セメント(株)特約店



磐城平町五丁目 電話九・九九

□良品廉賣に勝る商略なし
 □確實敏捷は久の生命なり

橋本屋

平電 新一川町三



開店お知らせ
 味覺の秋!
 空澄み人肥えるの秋!

おでん 吞兵衛

何卒可愛がつて下さい。
 平町 錦水跡(未廣通)

愈よ次號から

内容 大刷新

御期待の新活字 十三段の體裁美

紙面を改革

本社は社屋新築と共に設備の充實を遂げて各般の準備を完了愈よ來月一日から現在の舊式五號活字を全廢、ルビ付きの七ポイント及び九ポイントの新活字を使用して『二面十三段制』に紙面を改革致します。この體裁の整備に依つて掲載記事は現在より倍加する事になり、敏速、正確を誇る報導記事の外に、趣味、家庭、娛樂等に關する読みもの、一欄を新設、多彩的に紙面の充實を圖り、更らに大犧牲を拂つて大衆文壇の巨匠を促し左記の如き二大珠玉篇を

愛國護れ太平洋の波 寺島樞史作
小説 村瀬春映書

大衆小説 白柄劍風連 大島多慶夫作
井川洗涯書

郡下兒童の

朗らかな歌ひ振

けふの唱歌會大成功

石城教育部會主催の郡下小學校兒童唱歌會は既報の如く今三十一日午前九時から平第一校講堂に開催、篠山部會長の開會の挨拶があつて國歌を合唱、参加二十二校、約八百八十名が順

尋高、同入山、夏井、小川小名濱、赤井第一、平窪、好間尋高、飯野校唱歌會、飯野小學校は明一日一般父兄を招待校内唱歌會を催すと

大敷網が

漁獲の筆願

四倉濱夏職

四倉町漁業組合ではこの程本年度夏職の漁獲高を調査したが右に依ると總計十一萬三千七百七十五圓の巨額に上り、筆頭は坂本大敷網の四萬二千九百六十三圓七十七錢である、漁獲内譯左の如

- △丸和(七、六〇一四六)
- △鈴木賢二(二一、九六九圓〇五)
- △菅波末吉(二四、七七九圓四〇)
- △刈邊共同船(七〇、四圓〇七)
- △鈴木清太郎(一六六圓〇七)
- △高木八藏(六一〇圓)
- △佐藤慶三郎(九九五圓)
- △菅波義房(五〇九圓)
- △丸辰五郎(二九六圓)
- △山下初三郎(四八七圓二〇)
- △藤本嘉七(六四九圓一四)
- △佐々木清次(二七三圓一三)
- △廻船(一、二七九圓二八)
- △傳馬船(六、九七〇圓〇八)
- △委託(一、七二〇圓六〇)

イナゴ取りの金で

飯野小學校に備品

飯野村小學校では全校生徒の手でイナゴ取りを行つてゐたがこの程賣却十九圓餘を得たので近、協議の上學校備品を購入することにな

平町と小川の間で

青學の壯烈な演習

既報郡下青年學校の聯合演習は十一月二十八、九の兩日平町と小川間に壯烈に展開する事に決定尙十一月二十日午前九時から平青年學校でその打合せがあるが閱兵分列式は平窪小學校々庭で行ふ豫定の由

磐女三年籠球

既報磐女三年の各クラス對抗籠球大會は昨日後一時から

相場は値下りか

來る二日の俵米共販

新米出廻る

石城販聯の俵米共販は明後二日平町農業倉庫で行はれるが本卅一日迄の出廻りは左記の如く前回全く出荷を見なかつた新米が弗々出廻つて居り當日迄には未だ増加する見込で取引相場は幾分値下りの豫想

- 外チツプ
- △帳場 二十才前後 給十圓
- △職を求める方
- △風呂番 三十五才 高一修
- △給仕 十六才 高卒
- △炊事婦 五十五才 尋二修
- △農夫 六十二才 尋一修
- △土工夫 二十一才 尋卒
- △番頭 五十才迄 給五圓
- △自動車助手 十五才 高卒
- △尋二修

農銀の支店長

農工銀行平支店長伊達智山氏はこの程逝去したので後任に本店庶務課長菅保平氏が着任する

平町人

△死亡 亡
△大町二七 當時千葉縣東葛飾郡柏町柏八五五松崎

麻雀「開業」

平和俱樂部
平町田町紅小路

ノブさん(三四)
△新川町一三 小野幸雄さん(一八)

平職界の所報告

◇人を求める方
△日本食糧従業員 二十才前後 日給食付五十錢位
△見習職工 十六才位 高卒程度 小遣仕着
△トラック助手 十八才

卒業生各位

福島縣立磐城中學校
校友會長 小檜山 久作
同窓會長 關内 正一

父恒吉儀病氣の處藥石効なく本日午前七時遂に死去仕候間此段御通知申上候
敬白
追而告別式は十一月三日午後一時平窪村大字大室大運寺に於て執行仕候
昭和十一年十月廿一日

喪主 松崎長太郎
親戚總代 松崎房治郎

回春園の庭に 倒れて苦悶

細菌検査所長の令嬢 不治の病に厭世

園丁が見發

平町城山平細菌
検査所々長皆川
篤平氏長女昭子
さん(三)は廿九
日朝豊間村回春
園庭園で昏睡状
態に陥り倒れて
居たのを園丁が発見手當の
結果一命は取止めたがテ
ル
子さんは本年二月頃から回
春園に入園不治の病を悲觀し
た未アダリンを嚥下自殺を
圖つたもので、父親に宛て

紅葉狩り

警女川前へ

警女は既報の如く今三十一
日午前八時五十分の臨時列
車で川前に至り紅葉狩を催
した

鹽風に胃れ

自轉車が損傷

不良車は一掃された

平署では管内の自轉車々體
検査を去る九月十三日小名
濱町を皮切りに去月二十三
日の平窪村を最後として終
了したが受検車總数は八千
二百一十一臺で流石に平地方
の活氣ある一面を物語つて
ゐる、うち合格車は六千九
百二臺で不合格車は千三百
九臺の多數に上つた同署で
はこれら不合格車はどし
どし處分して交通保安を期
したため不良車の一掃を圖
るを得たが當地方は海岸地
帯のため鹽風に冒され自轉

平和俱樂部 野澤氏經營

平町田町「麻雀」平和俱樂部
は經營者渡邊傳三郎氏死去
以來休業中の處福島民報平
支局長野澤武藏氏がそのま
ゝ繼承し内容を改善一日か

ら經營に當るとになつた
小名濱の撞球 小名
濱ビビヤード金波主催撞
球大會は廿九日午後六時よ
り同ビビヤードで催したが
一等七野君外七名入賞した

役場吏員觀楓 平町
役場吏員一行十餘名は明一
日川前、小川都間の溪谷に
一日を清遊することになつ
た

屍體は發見されぬ

背廣とトランクを残り
防波堤の突端から投身
身元は遺書で判明

廿日午後二時半頃小名濱町
定西地内西防波堤突端に紺
背廣上着とトランクを残し
て投身した男あるを通行人
が発見、屍體を捜査中であ
るが遺書に依り田村郡大越
村本田好己(三)と判明、神
經衰弱が昂じての厭世自殺

密漁中に

江名漁船捕る

江名町浮助司所有漁船榮福
丸(三十六馬力)船長坂本己
喜次(三)外乗組員十六名は
二十八日午後三時頃相馬郡
鶴尾岬十海渚の禁漁區でか
れひ四十貫を密漁してある
處を縣漁業監視船福島丸に
拿捕された

宮城から故障

愈々最盛期に入つた石城地

明日のラジオ

今晩の部
後六、〇〇 ラヂオオヴアラ
エナイ「世界勤儉デー」日
の丸管絃樂團他
後六、二五 講演「科學界
のトビツク」近藤泰夫
後七、三〇 落語「各國の
幽霊」鈴ヶ舎樂風
後七、五〇 近代及び現代
の音樂「ミロー及びビショ

明日の部

「ソノ作品」日響
後八、三〇 連続探偵ドラ
マ「深夜の冒険」柳永二郎
他
後九、〇〇 時事解説「ヨ
ロッパの昨今」芦田均
後九、三〇 時報「ニュー
ス」明日の歴史 氣象通
報 番組豫告

裁判一束

△好間村大字北好間字權現
堂一〇炭礦坑夫制野祐吾
(三)に係る窃盜事件の公判
は今三十一日午前十時から
平區で野木判事係り石合檢
事立會の下に開廷されたが
同人は起訴猶豫中の者であ
りながら十數回に亘り小鼠
泥を働いたもので判事から
即決求刑通り懲役六ヶ月を
言渡された

△既報昨日石合檢事から懲
役六ヶ月を求刑された平町
材木町某新聞平發行所主任
陽孝事佐藤誠(三)に係る恐
喝事件の判決言渡し公判は
今三十一日午前九時から平
區で香西判事係りの下に開
廷、懲役四ヶ月但執行猶豫
四年間を言渡され此温情味
ある判決に今後の更生を契
つて退廷した

△既昨日送検された移動賭
博團の巨魁小名濱町字中坪
居住高島事若松惣吉(三)湯
本町向田越地新一(三)の兩
名は櫻井檢事取調の上若
松は「賭場開張圖利並賭博」

前九、三〇 子供
お國童謡一松江 廣島岡
山、高知
前一〇、〇〇 H 曜勤行
浄土宗光明寺中繼
前一〇、四〇 講演「柑橋
の話」恩田鐵彌
前一一、一〇 講演「帝國
在郷軍人會令發布に就
て」沼田徳重「秋田」山本
富一
前一一、五〇 軍用犬訓練
實況：札幌市中島公園中
繼
後〇、五〇 六大學野球：
早慶戦：神宮球場中繼

後四、二〇 全日本大學高
專劍道選手權大會實況：
名古屋市公會堂中繼
後六、〇〇 子供の時間
兒童劇「子雀のチユン吉」
雛鳥コドモ會、童話劇「落
葉物語」はなびら會
後七、三〇 講演「結核像
陳國民運動に就て」挾間
茂
後七、四〇 物語「青春」小
林十九二他松竹大船連
後八、〇五 歌謡曲 喜代
三
後八、二〇 義太夫「忠臣
藏」茶屋場の段「竹本東廣
後八、五五 浪花節「慶安
太平記」木村重勝

常習賭博の親玉 罰金百圓に處分

越地は「常習賭博罪」として
起訴されたが今三十一日平
區で野木判事の拘留訊問を受
けて刑務所に收容された

の九名は櫻井檢事取調への
結果今三十一日起訴され直
ちに平區野木判事から
菊地罰金百圓、宗像同八
十圓、今田同六十圓、松
本同五十圓、赤川、萩野
同四十圓、伊藤同三十圓
本立同二十圓
に各略式命令を以て處分さ
れた

是非!

御融通には御用命下さい
萬事便利な御相談に應じ
ます

三井質店

公債、債券、質物一般

平・四 電六〇六番



悟道軒圓玉(作) 丸尾至陽(書)

二五九 病院の伊庭

伊庭八郎は負傷に屈せず百六十人の兵を引いて七重村に居る官軍の陣所として進む。五月五日の夜、それに暴風雨、八郎は榎本君の乗馬墨流しにまたがりしづくと敵陣近く進みよる。八「今日は五月五日で男の節句だ、官軍を鬼とみてこの降魔の剣をふるひ、鬼共をみなごろしにしろ」と叫んで味方をはげまし斥候をはなち敵營をさぐらせると兵士はよく睡り居る陣前に焚きし籐も雨のために消えなむといたし居る、時分はよし、それ射とと號令をかけた八郎、かくと聞いて幕軍は銃を執り直して一齊に射撃した、イヤおどろいたは官軍、まさか今夜襲はあるまいと思つてたそこを襲撃されてそれ敵が来たぞといつたが狼狽して敵味方をよくも見定めずた銃をばなち、または刀を揮つて荒れまわる、幕軍には合言葉もあり白木綿の襷をもつて目印といたしあれば同志討はない、その中に風上より火をはなつ、どつと燃え上る、吹き来る風にあふられて毒蛇の舌のよ

き猛火はいよ／＼さかんとなり、焼種のあるかぎり燃えつくさむと猛り狂ふ、幕軍はこの火にて敵を見定め狙撃したがバタ／＼打ちたほし、その間に刀を揮ひ、



または槍を以て突き入る、官軍は散々に射たれてどつと敗走する、それ戦ひは勝ちだど幕軍は十丁あまり追撃した、その時に伊庭八郎は引き揚げの喇叭をならし猶軍目付をはしらせ引きあげの命令をつたへた、ここで兵は引返す。八「目出度い、大分鬼共を射ち取つたな、こんなこと

があるから戦ひはやめられぬよ、大久保彦左衛門がかつて警句を吐いた、負ずは怯死なすは戦、これ程迄におもしろいものはないといつた、さすがに苦勞人の大久保だ、いふこととうまみがある、時に怪我をしたものがあるか。八「まだしかとは判りませんが、怪我をいたしたのものないやうにございます」と軍目付がこたへた。八「負傷者がなければ戦死したものもなからう、一兵も損せず七八人居る敵軍

をおそひ、大勝利を得たは目出度いことだ。八「あなたの傷は何うなりました、痛みますか」。八「それは生身の俺のことゝて傷は痛みが戦つてゐる間は少しも痛みを感じぬよ傷の妙薬には戦ひがよい、さア早く引き上げろ」としづかに駒をうたせて五稜廓に引寄せた、時に

八郎は榎本君に乗馬をもどし。八「お蔭を以て戦は大勝利およろこびください」。榎「そのことは只今承はつたが、今夜の戦ひは大出来だ、大川村の夜襲も勝利を得たとの吉報に接し居る、まづ戦勝を祝するであらう……」。とこれから酒宴をひらいた、八郎はまづ病院にもどつたが俄かに發熱して人事不省、しかし折々ベットの上へ飛びおきて。八「いくさは何うした、負けたか、勝つたか」とわれるやうな聲をだしてたづねる、村添の兵士が兵「いくさは大勝利でございます」。八「しめた、ムムム目

出度い、目出度い」といひながらごろりと寝る、またしばらくすると飛びおきて。八「これ渡邊」と從卒を呼ぶ、またはじまつたところも心得てゐるから。八「戦は大勝利でございます」。八「夜は明けたか」。八「しまつた、夜が明けてくわく／＼と陽が出て居ります、まずは天気も大勝利……」。などとこたへる、伊庭八郎はこの病中にも戦のことは少しも念頭を去らぬ。ところ官軍もこゝしはらくは休戦状態、幕軍よりも兵を出さなんだ、しかし兩軍沈黙して居るがこの内に戦氣をはらんでゐる。

新製秋冬紳士服御詔

御假縫付仕立入念奉仕!

- 背廣三ツ揃 金二十圓より
- オニバ各種 金二十五圓より
- モーニング一着 金四十五圓より
- 立衿一着 金二十二圓より
- 二重廻一着 金二十七圓より
- 東コート一着 金十六圓より

御注文一着毎に抽籤券進呈 (但シ金參拾圓以上)
 (一等) モーニング及編ズボン一着分 一本
 (二等) ラグダガー、コーチンク一着分 一本
 (三等) 合背廣服生地一着分 二本
 (四等) 當店發行金拾圓券一枚 二本
 (五等) カフスボタン一組宛 二本
 以上全部總當り

服洋冬秋の前騰暴 賞懸 特付 賣

特賣期日 九月十五日より 十二月三十日まで
 抽籤發表 昭和十二年一月十五日 厳正に抽籤施行

福永洋服店 福島縣平町田町十九 末廣科理店前 電話二二八

百果味美しく 食欲のすむ 秋となりました 今迄暑さの爲に弱つていた胃腸病の方 が冷しくなつて俄に食べ過ぎてお腹を 害したらスグキ、メの早い

靈効散 胃腸藥 を御試し下さい

胃腸病、心臓病、肺、痔、適應藥 三年、五年と患ふ慢性胃腸病が全快した人が澤山 あります。御望の方には見本藥一日分を差上ります から御遠慮なく御來局下さい

平町古銀治町一〇縣社ノ下

處方箋調劑所 **阿康藥局**

定價 五十錢 壹圓 電話 四四四番 振替口座東京三〇〇五番 御子様方には飲み易い小兒靈効散があります

外科 内臓外科 院長 安齋 徹

X光線科

産婦人科 醫學士 黒澤 廣

▽入院隨意△ 平町田町 安齋醫院 電話 四七五

夜 間 診 療

胃腸病性

内科 胃腸病科 花柳病科 性病科 皮膚科

専門 院醫 性胃 腸病 村松 (番〇七一町南町平)